

想い

軌跡

# 店主の集まりから始まった豊かな森づくり ～町から山へ、地域の自然を子供とともに創りだす～



地域の老若男女が集まる記念植樹

## 【主な活動実績】

平成17年1月 地元コミュニティの再生をめざし、「いたやにすと」結成  
平成20年7月 国土交通省六甲砂防事務所にて森の世話人として登録  
平成28年3月 10回目となる記念植樹祭を開催

〔参考URL〕 [http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/pr\\_media/plant/group/volunteer/itaya.php](http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/pr_media/plant/group/volunteer/itaya.php)

いたやにすと 代表

## 梅澤 浩

## あの山ってどうなってるんやろう？

板宿の町の活性化などを目的に集まった会合で「そういえば昔よく遊んだ山に最近行かへんけど、どうなってるん？」と…。

素朴な疑問から山を訪れてびっくり。

## 真っ暗やん！こんな誰も来うへんで！

山の斜面にはニセアカシアが繁茂。

林内は薄暗く、とても子供が気軽に遊べるような場所ではなくなっていた。

## 掃除だけやない、森を変えるんや！

最初の2年はごみ拾い。その後、土地の所有者がわかり、森づくり団体として自然豊かな森づくりに着手。活動そのものや集まるメンバーとの談笑がとっても楽しい。「こんなに森づくり楽しかったんや！大人の道楽やな。」

## 「キーン」

森づくり活動で随分と明るくなった林内。イベントで木に張り巡らせたロープやブランコ、丸太の橋を前に子供達から歓声。久々に山に子供達のにぎやかな声が響き渡った。「やっぱり子供達の歓声はいいな。」

## 参加者の笑顔がエネルギー

植樹地の草刈など、言葉では言い表わせないほど大変な作業もあり、いやになる時も…。しかし、秋のどんぐり拾いや早春の記念植樹祭に集まる地元の方々の笑顔に背中を押されてしまう。「さあ、頑張ろう！いや楽しもう！」



協力しあって森を整備



近くの小学生も訪れる森に



子供達に忘れられない一瞬を